# 複雑な助成金制度から読み解く、障害者雇用の3つの壁

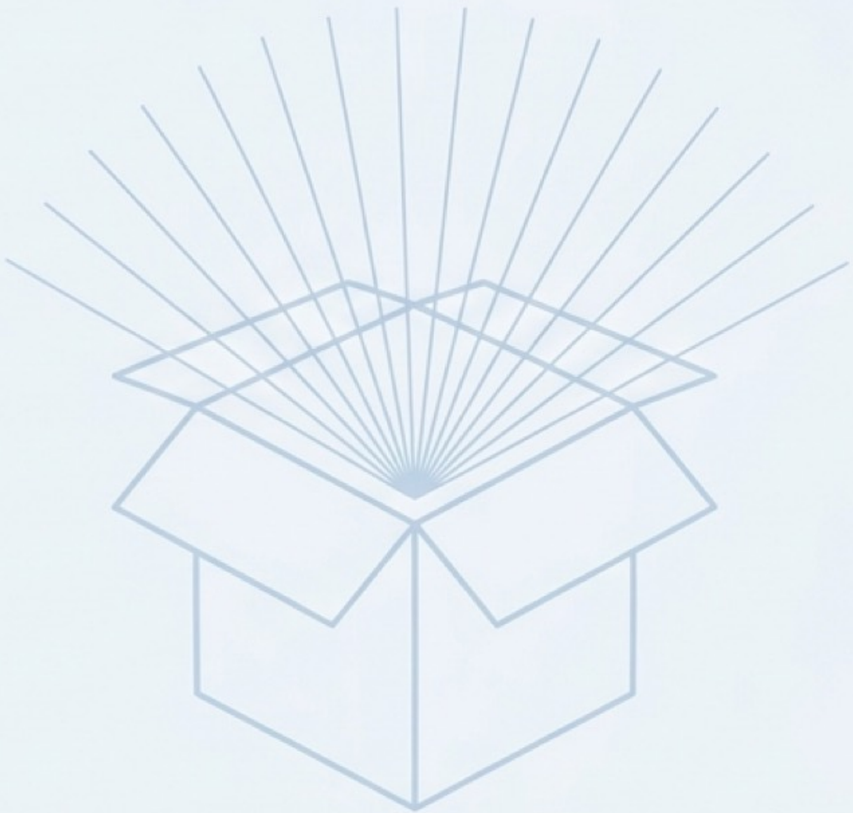
人事課題×就労支援　竹内一法

Gemini Notebook

INTRODUCTION

# 制度の複雑さに迷わず、自社の課題と照らし合わせて活用できる状態をつくります。

- 助成金が複雑な理由は、人事の課題ごとに制度が細かく分かれているからです
- 自社が直面している「採用・継続・定着」の壁を把握でできます
- 現在の課題に合わせて、どの支援枠を検討すべきかが分かります



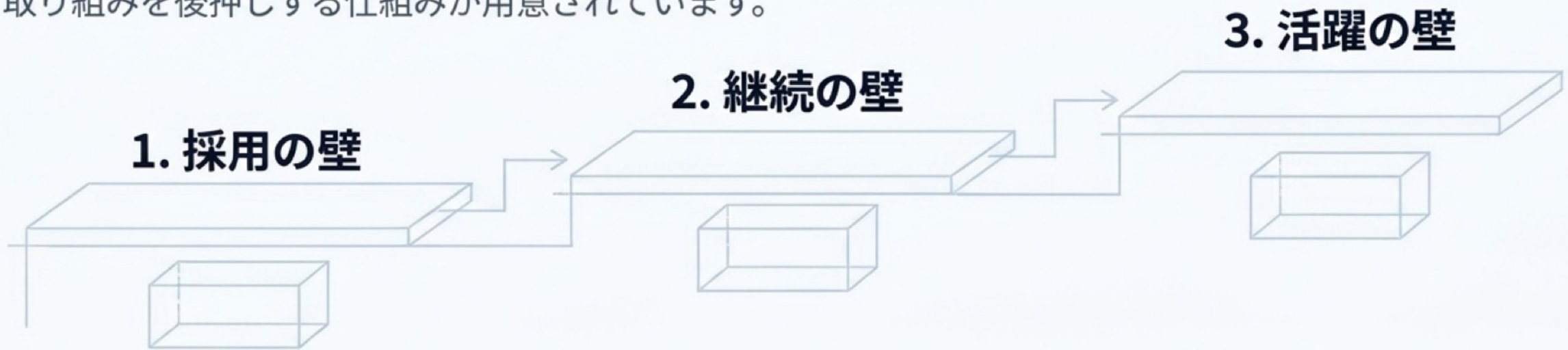
**Q. 障害者雇用を進める上で、自社が今一番不安に感じていることは何ですか。**

Gemini Notebook

STRUCTURE

# 助成金の種類は、人事が直面する3つの課題の裏返しです。

制度の全体像を、人事の受け入れプロセスに沿って整理します。
採用、継続、そして定着して活躍するという段階ごとに、企業の前向きな取り組みを後押しする仕組みが用意されています。



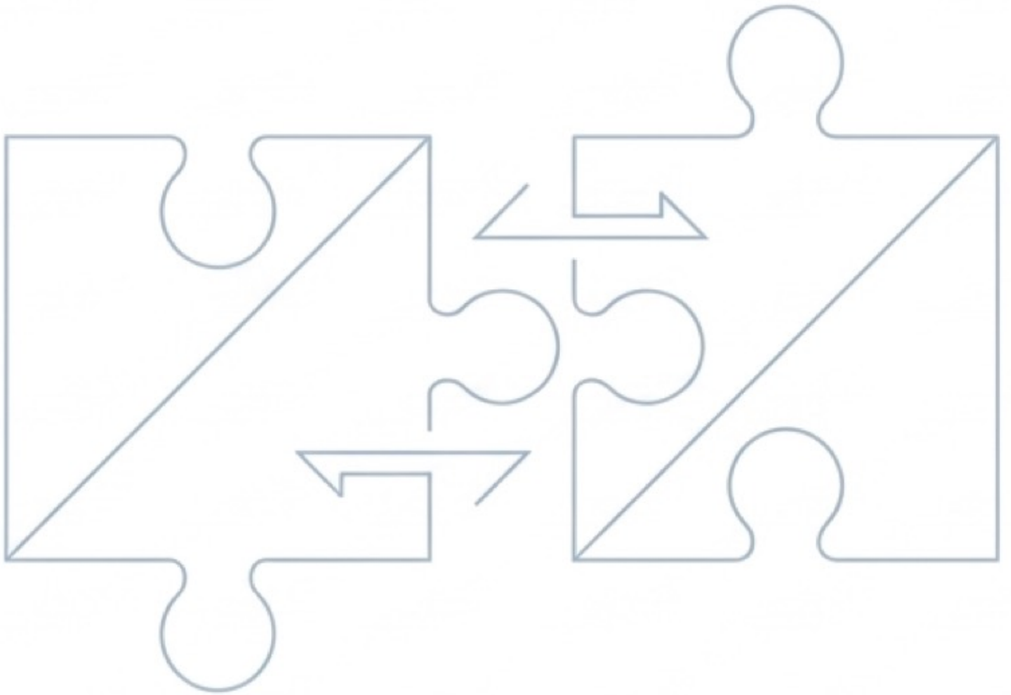

**Q. 現在の自社の取り組みは、この3つのどの段階の壁に直面していますか。**

Gemini Notebook

HIRING

# 採用時のミスマッチの不安は、一定期間のお試しで軽減します。

自社の業務に合うかどうかの不安を解消するため、
一定期間の勤務を通じてお互いの適性を確かめ合う
制度が用意されています。



- 就労経験がない方や、直近2年で離職や転職が2回以上の方などが対象です
- 離職期間が6ヶ月を超えている方も対象となります
- 受給できる支援額は、3ヶ月間で最大4万円です

## Q. 現場の担当者が抱く「業務を任せられるか」という不安をどう解消しますか。

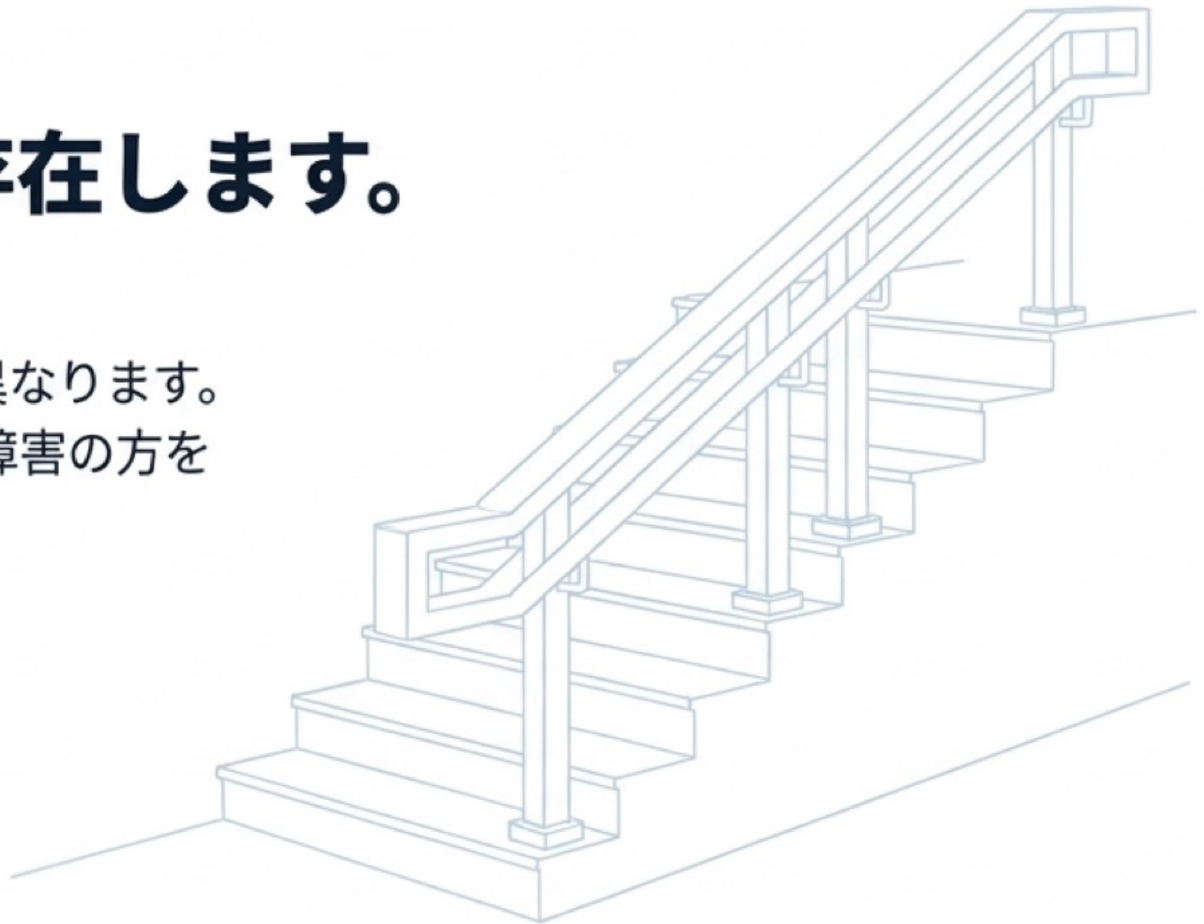
Gemini Notebook

HIRING

# 定着のハードルに合わせた、より手厚い支援の枠組みが存在します。

障害の特性によって、職場への定着にかかる時間は異なります。
身体・知的障害の方に比べ離職率の傾向が高い精神障害の方を
受け入れる場合、支援が拡充されます。

- 適性を確かめるための期間と金額がより大きく
- 適性を確かめるための期間と金額がより大きく
- 受給できる支援額は、月額最大8万円です
- 受給できる支援額は、月額最大8万円です
- 期間は最大6ヶ月間のコースも選択可能です



**Q. 障害の特性に応じた柔軟な受け入れ期間を、社内でどう確保しますか。**

Gemini Notebook

RETENTION

# 長く働き続けることを前提に、受け入れの土台をつくります。

高齢の方や、発達障害、難治性疾患のある方を
継続して雇用する企業への支援です。
長期的な視点で受け入れ体制を整える企業を後押しします。

- 対象者の年齢が65歳に達するまで継続して雇用することが条件です
- 当該の雇用期間が継続して2年以上になる確実な見込みが必要です
- 受給できる支援額は、対象者の状況により約50万円から最大240万円です



**Q.** 2年先、あるいはそれ以上を見据えた受け入れ体制をどう構築しますか。

Gemini Notebook

CONDITIONS

# 働き方の多様性を認め、短時間労働から始めることを後押しします。

いきなり長時間の勤務が難しい方でも、無理のない条件からスタートできます。週の労働時間に応じて、受け取れる支援の額が分かれています。

- 1週間の所定労働時間が20時間以上、30時間未満から対象になります
- 短時間の条件で受け入れた場合、支援額は約30万円から80万円です
- 少しずつ自社の業務や環境に慣れてもらうための制度設計に役立ちます



## Q. 週20時間という短い労働時間でも任せられる業務を、どう切り出しますか。

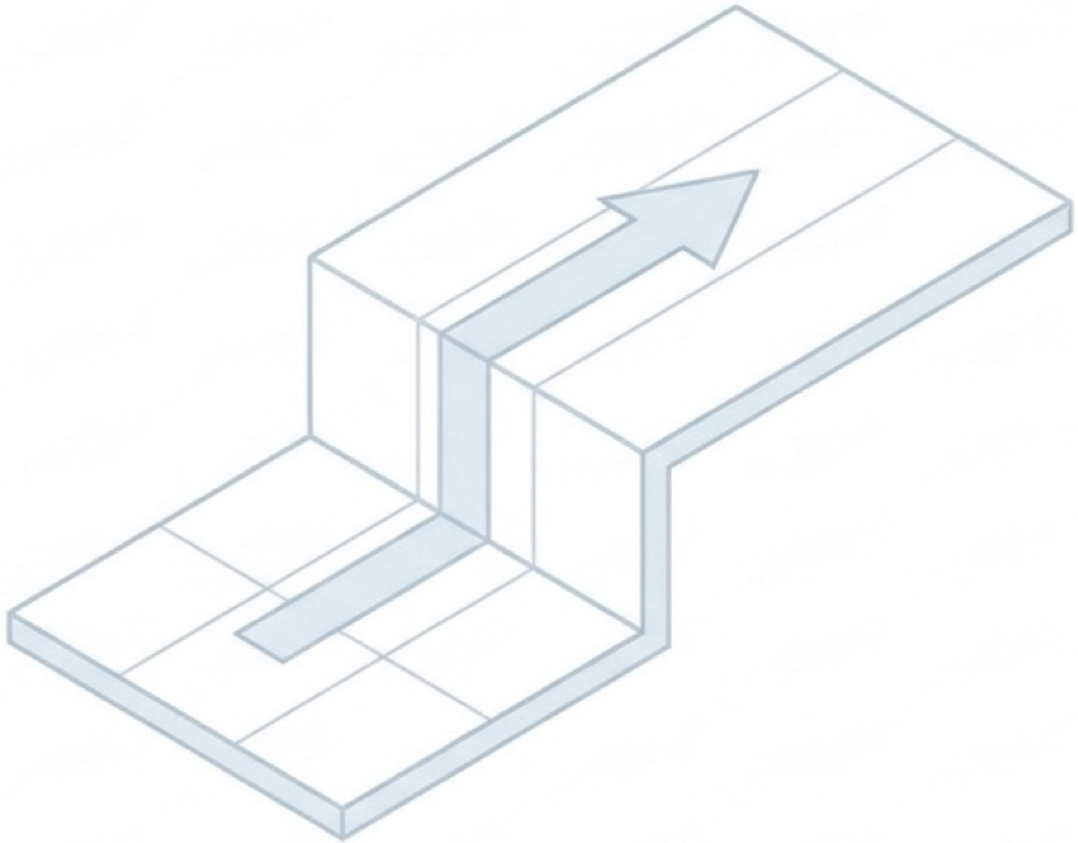
Gemini Notebook

STEP UP

# 業務への定着を確認し、より安定した雇用へと転換します。

期間の定めがある雇用からスタートし、職場に定着した段階で、より安定した働き方へステップアップさせる制度です。長く活躍してもらうための仕組みです。

- 有期雇用から、正規雇用または無期雇用への転換が対象です
- 採用後にキャリアアップの道筋を示すことができます
- 転換により、1人あたり約33万円から120万円の支援を受け取れます



## Q. 入社後にステップアップできる評価や登用の基準は用意されていますか。

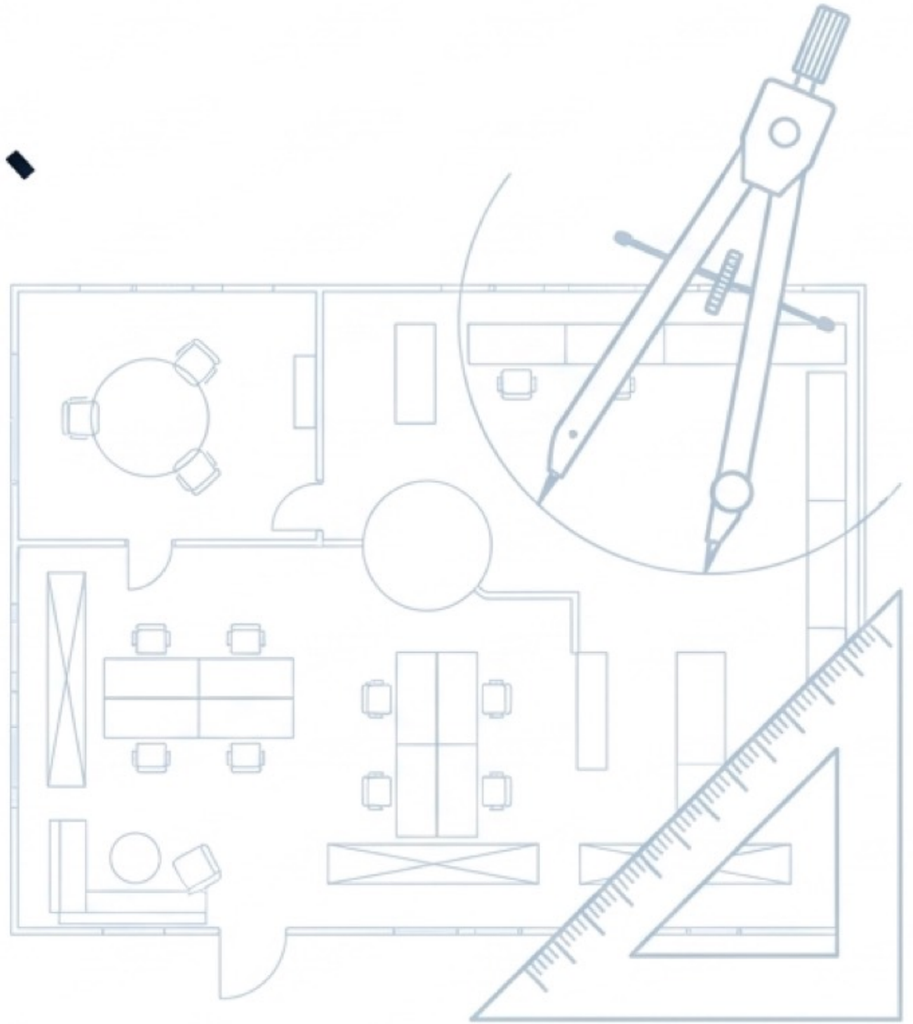
Gemini Notebook

ENVIRONMENT

# 雇用後の働きやすい環境づくりにも、多様な支援の枠が存在します。

人材の採用や転換だけでなく、受け入れた後の職場環境を整えるための支援も別に用意されています。障害者雇用納付金制度に基づく仕組みです。

- 設備の改修や体制づくりなど、約7種類の助成金に細かく分けられています
- 自社に不足している環境要因に合わせて、適切な制度を探すことが大切です



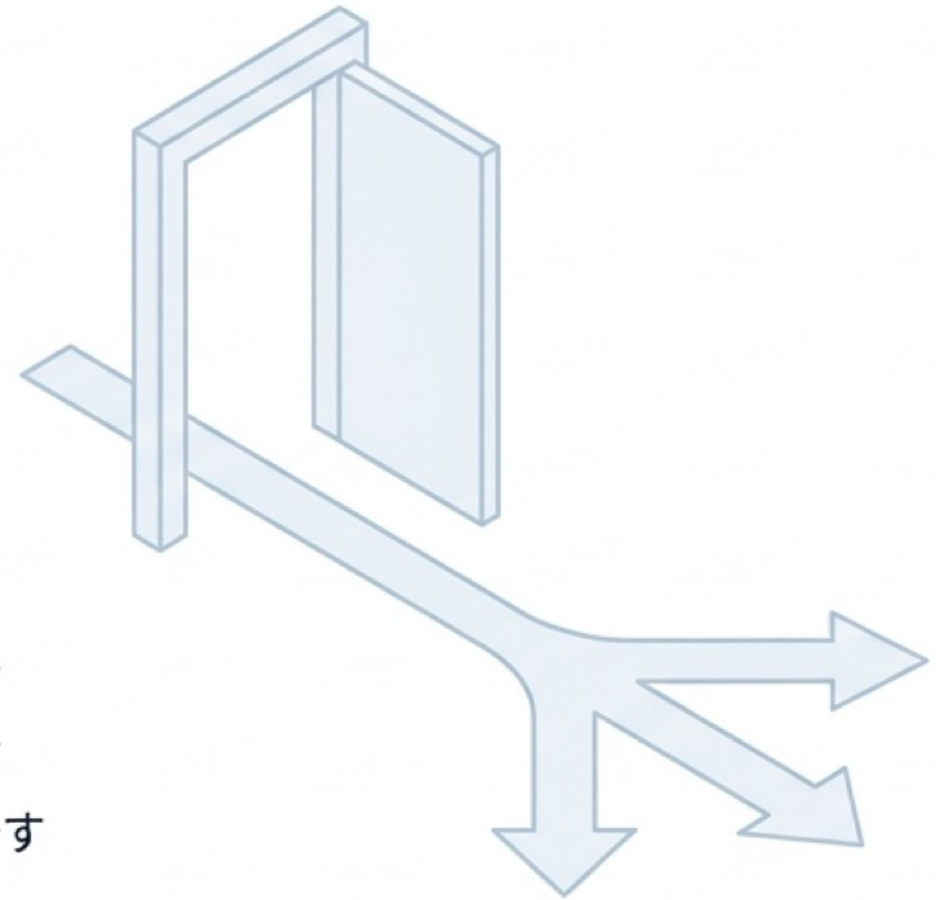
## Q. 働きやすさを向上させるために、職場にどんな設備や配慮が必要ですか。

Gemini Notebook

RULES

# 制度を活用するための大前提は、指定された窓口を経由することです。

多くの助成金に共通する重要な条件があります。それは採用活動の入り口に関するものです。自社で独自に採用するだけでは、対象にならない場合があります。



- ハローワークからの紹介で受け入れることが基本の条件となります
- 国が定める有料・無料の職業紹介事業者の経由も対象に含まれます
- 制度を見据える場合は、求人の出し方や窓口選びから工夫が必要です

## Q. 現在の求人は、どの機関を経由して募集を行っていますか。

Gemini Notebook

CONCLUSION

# 助成金は制度からではなく、自社の人事課題を起点に考えます。

複雑に見える制度も、自社が今「採用・継続・定着」のどの壁に直面しているかを軸にすれば、活用すべき支援が見えてきます。

- 採用の壁：お試し期間で適性を見極める
- 継続の壁：短時間や長期雇用の前提で土台をつくる
- 活躍の壁：有期から無期へとステップアップする

**Q. まずは自社の課題を1つに絞り、どのような働き方から始めるか話し合ってみませんか。**


Gemini Notebook